

令和6年

8月

波田交番だより

発行

松本警察署

波田交番

0263-92-2040

夏の行楽期の交通事故防止

① ゆといのある運転を

- ① 時間に余裕を持って出発する
- ② 車間距離を空ける
- ③ 疲れを感じる前に休憩を取る



② スピードダウンと安全確認

- ① スピードの出しすぎは、重大事故のもと
特に住宅街はゆっくりと
- ② 交差点での確実な安全確認



③ バイクの事故防止

- ① カーブの手前で安全な速度に減速
- ② 被害を軽減するためのプロテクターなどを着用

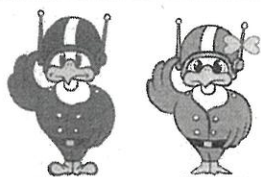


夏山遭難防止



- 登山計画は重要です!!
登山が自分の体力や技術に合っているか確認し、無理のない安全な計画を立てましょう!
- 入山場所と予定を家族等に伝えましょう!
事前に登山計画書を作成し、家族や友人、職場等に登る山の計画を伝えましょう!
- 単独での入山は避けましょう!
避難時に救助要請ができない場合があるので単独登山は避けましょう!
- 十分な日程と装備で!
夏山は天候が急変します。余裕のある日程で、無理な行動は控えましょう!





長野県警察シンボルマスコット「ライボくん ライビィちゃん」

松本警察署

令和6年8月号

ビィじいさん



電話でお金詐欺防止キャラクター

「電話でお金詐欺」撃退通信

詐欺被害に遭ってしまった方々の声

令和5年中の電話でお金詐欺(特殊詐欺)被害者227人のうち、協力が得られた172人を対象に、詐欺に関する意識等についてアンケートによる調査を実施しました。

アンケートに答えてくださった方々は、決して詐欺被害そのものを軽く考えていたわけではなく、皆さんと同じように詐欺に気がつけていた人がほとんどです。

「被害に遭う人が一人でも減るのなら」という想いでご協力して頂いたものですので、ぜひ一度お読み頂き、電話でお金詐欺に対して用心して頂くようお願い致します。

○ 「自分はだまされないと思っていた」との回答が約8割

→ その理由は「見破る自信があった」「自分には関係ないと思っていた」との過信や無関心が原因。

→ 誰もが被害に遭う可能性があるとの危機意識・当事者意識の醸成が必要。



○ 電話対策をせず、被害に遭っている人が約6割

→ 留守番電話設定、ナンバーディスプレイ、ナンバーリクエストの利用により、犯人からの電話に出ないよう対策を徹底。



○ オレオレ詐欺被害者の約8割、還付金詐欺被害者の約6割が「手口を知っていた」との回答

→ 手口を知っていても、犯人と話してしまうとだまされる確率は高くなる。



○ 家族など、第三者に相談していなかった被害者が9割

→ 予期せぬお金の話には1人で対応しようとせず、誰かに相談できる体制づくりが重要。



長野県警察ホームページ 美川憲一さん・湯澤かよこさんの留守番電話応答メッセージの再生はこちらから

<https://www.pref.nagano.lg.jp/police/jikenjiko/tokushu/rusudenonsei.html>

詐欺防止のための3つの合い言葉

- ① 自宅の電話機対策（留守番電話・防犯機能付き電話の活用）をしましょう
- ② 暗証番号は教えない
- ③ キャッシュカードや現金は渡さない・ポストに入れず・送らない